HITACHI
Inspire the Next

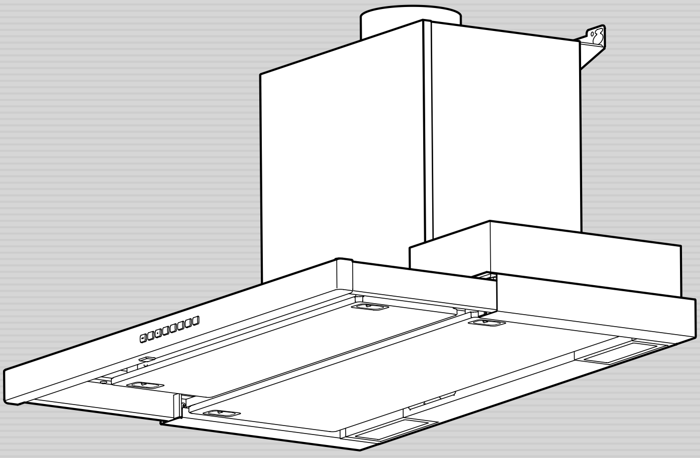
取扱説明書

据付説明書別添付

日立IH対応レンジフードファン

型式 **HE-900SA**

常時換気・台所用



このたびは日立IH対応レンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
このレンジフードファンは家庭用です。
業務用や換気以外の目的にはご使用にならないでください。

ご使用前にこの取扱説明書・据付説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、据付説明書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」➔ P.6～7 をお読みいただき、正しくお使いください。

サイレント＆グリルモード

薄型自動伸縮フード

日立 IH 対応レンジフードファン

特長とお願い

収納時奥行き375mmの薄型自動伸縮フード

●収納時は一般的なキッチンの吊り戸と同じ奥行きの375mmに収まり、キッチンにすっきりフィットします。

使うときにはスイッチ１つで伸縮フードが伸長し、運転を開始します。

収納時

高い捕集性能と清掃性を実現する「3段階スライド整流板」

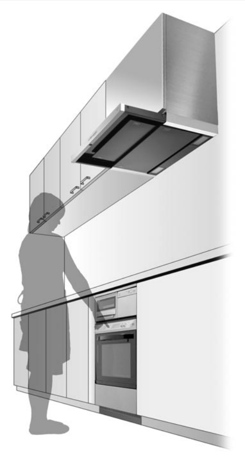
●フード下面に配置している整流板を2枚重ねて配置し、IHクッキングヒーターの使用状態に合わせて、下側の整流板が3段階に移動する「3段階スライド整流板」を採用しました。

●お手入れモード時は整流板が手前に移動することで、手の届きにくかったところも楽にお手入れできます。

IHクッキングヒーターや電気オーブンレンジと連動運転が可能

●IHクッキングヒーターの左・右・中央ヒーターやグリル、電気オーブンレンジとの連動運転機能を採用しています。

ガスコンロでも使用できますが、連動機能をもっていないものは、連動できません。



赤外線連動機能を備えたIHクッキングヒーターなどをお使いの場合は、連動して自動でフードが伸長し運転を開始します。

※連動可能な調理機器については販売店へ確認、問い合わせしてください。

➔P.26

もくじ

伸長時

使いやすい前面操作と、多彩な運転モード

- 使いやすさへの配慮から、フード前面に操作部を配置しました。
- 通常の運転モードに、新たに24時間換気に対応する常時換気運転を搭載しました。

ご使用の前に

●各部のなまえと働き・付属品・操作スイッチ ･･･ 4
●安全上のご注意 ･･････････････････････････ 6
●使用上のご注意 ･･････････････････････････ 8

使いかた

●本体操作で換気をする･････････････････････ 10
・常時換気運転をする･･････････････････････ 11
●調理機器と連動運転させ換気をする ････････ 12
●その他の使いかた ････････････････････････ 13

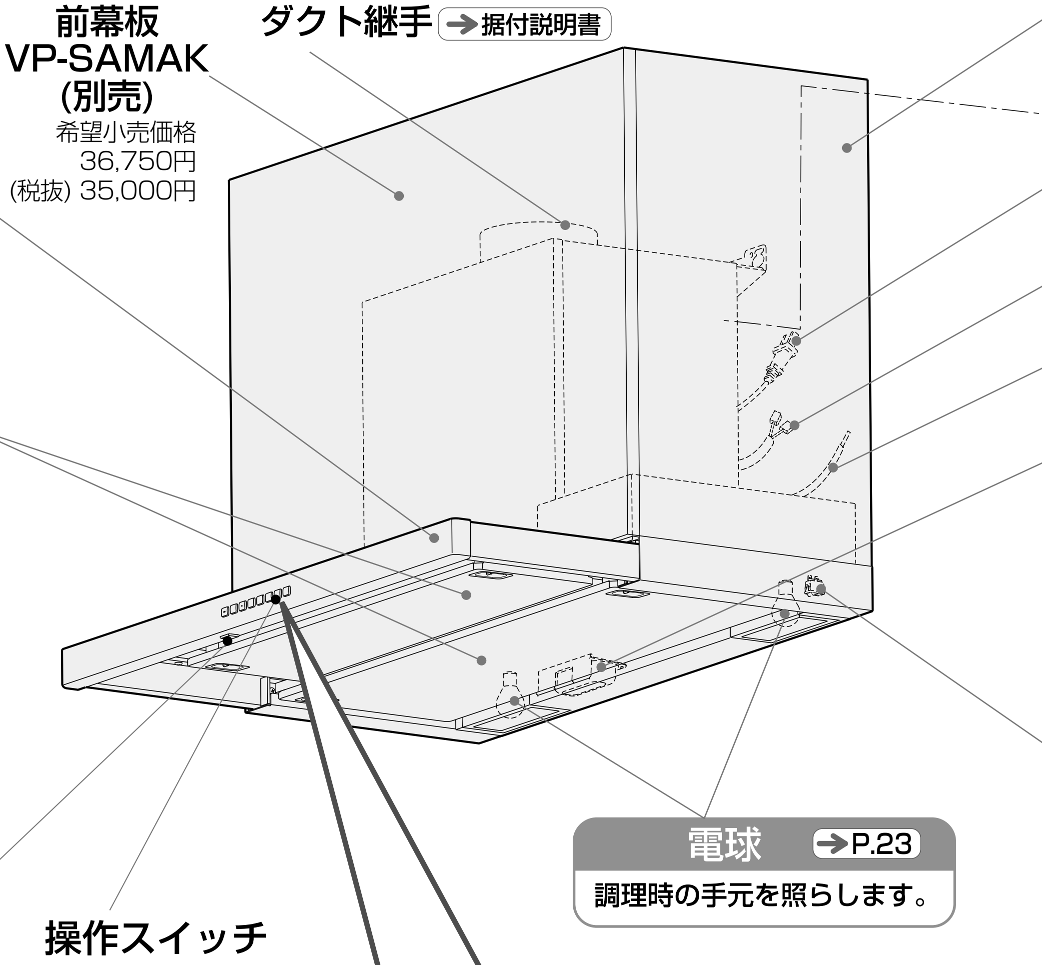
お手入れ・アフターサービス

●お手入れ ････････････････････････････････ 15
・整流板・フードまわり<日頃のお手入れ> ････ 15
・オイルポケット<定期的にお手入れ> ････････ 17
・整流板、フードまわり<汚れが多いとき>････ 18
・フィルター、ベルマウス、ファン ･･････････ 19
・電球交換 ･･･････････････････････････････ 23
●故障かなと思ったら･･･････････････････････ 24
●アフターサービス ････････････････････････ 26
●寸法図･･･････････････････････････････････ 28
●仕様･････････････････････････････････････ 28
●システム部材 ････････････････････････････ 28

各部のなまえと働き・付属品・操作スイッチ

■ (➔P.○○) このマークは(取扱説明書)の記載ページです。

■別売の前幕板、横幕板を取り付けた状態で説明しています。



伸縮フード

通常、フードは本体内部に収納されていますが、使用時はフードが伸長し、換気運転を開始します。

整流板(大)、(小)

調理時に発生する湯気や煙の流れを、吸い込みやすいように導くと同時に、適切な吸い込み口を形成します。

信号受信部 (➔P.12)

連動可能な調理機器から発信される信号を受け付けます。

電球 (➔P.23)

調理時の手元を照らします。

操作スイッチの働き

運転を停止する (➔P.10)

- ●換気運転を停止します。
- ●伸縮フードや整流板の動作を停止します。
- ●常時運転やお手入れモードを解除します。(3秒長押し)

換気運転をする (➔P.10)

「弱」「標準」「強」「グリル」の運転モードで換気運転をします。

横幕板
VP-SAYMAK
(別売)
希望小売価格 26,250円
(税抜) 25,000円

電源コード
→据付説明書

連動コード
→据付説明書

アース線
→据付説明書

オイルポケット →P.17

レンジフードファン内に付着した油を受けてためておきます。
定期的にお手入れしてください。

安全スイッチ(電源スイッチ) →P.19 他

レンジフードファンの電源を切／入します。

フィルター →P.19~22

ファンへの異物侵入を防ぎ、かつ、油煙中の油を付着させ外気へ放出される油の量を減らします。

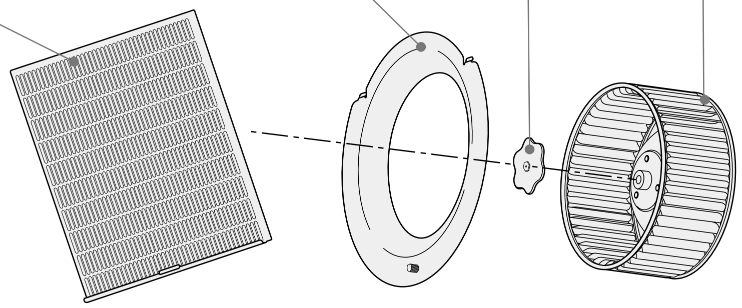
ベルマウス →P.19~22

ファンに吸い込まれる空気の流れを滑らかにします。

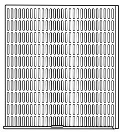
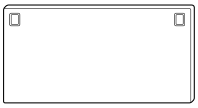
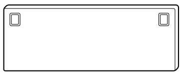
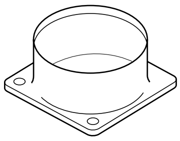
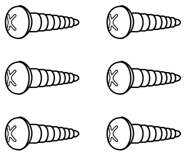
ファン →P.19~22

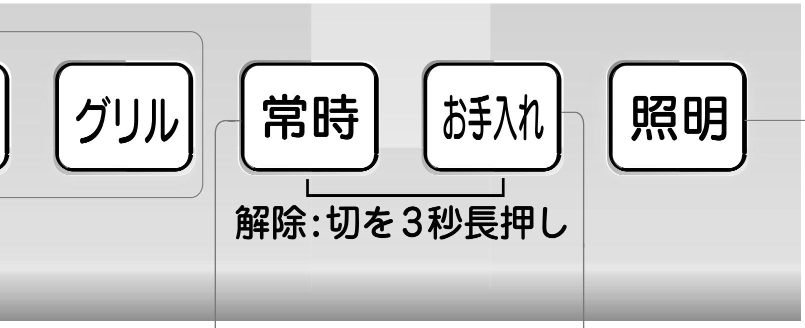
高回転で回って空気を吸い込み、屋外に排気します。

ファンキャップ



付属品（「据付説明書」を参照ください。）

フィルター	整流板(大)	整流板(小)	ダクト継手	本体固定用ねじ
				
（1枚）	（1枚）	（1枚）	（1個）	（6本）



照明を消灯/点灯する

スイッチを押すたびに消灯/点灯を繰り返します。
- お手入れモード中は点灯しません。
- 切 でも消灯できます。
  ※ただし、換気運転中は、換気運転も同時に停止します。
- 伸縮フード、整流板の動作中はスイッチを受け付けません。
- 照明を点灯させたまま換気運転を終了した場合は、次回換気運転時に照明は自動点灯します。

常時換気運転をする →P.11

調理していないときに、少ない風量で常に換気をします。

お手入れモードにする →P.15~23

ファンは停止し、伸縮フード、整流板(大)が手前に移動して、お手入れモードになり、切 以外のスイッチを受け付けません。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は
表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
⚠	「警告や注意を促す」内容のものです。
🛇	してはいけない「禁止」内容のものです。
❗	必ず実行していただく「指示」内容のものです。

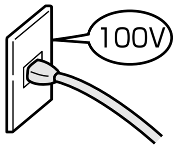
⚠ 警　告

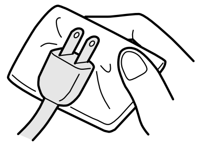
●火災・感電・けがの原因になります。

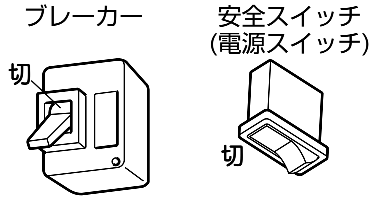
電源(安全スイッチ・プラグ・コード)

●交流100V以外では使用しない
●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
●長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
●電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く
●お手入れや電球を交換するときには、必ず安全スイッチまたは分電盤のブレーカーを切っておこなう

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●電源コードを傷つけない
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない）







アース線

●確実に取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠ 警　告

そのほか

●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する

●分解したり、修理・改造しない

●ガス漏れの恐れがある場合はレンジフードファンを使用しない

●水につけたり、水や洗剤をかけたりしない(モーター、スイッチなどの電気部品)

●本体各部に水やお湯、かび取り剤などをかけない

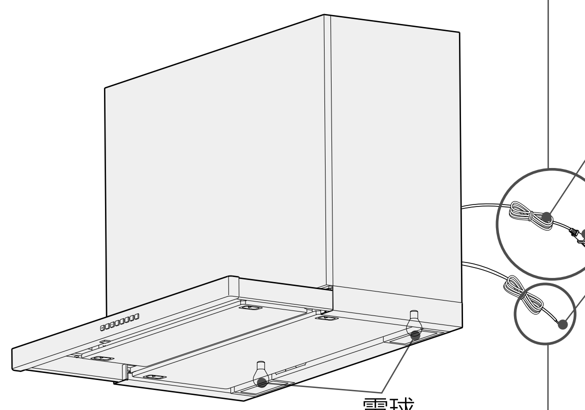
⚠ 注　意

●発火・ショート・感電・けが・故障の原因になります。

電球

●電球の交換は、ガラスや電球が冷めてからおこなう

●指定以外の電球を使用しない
(ミニ電球 口金E17定格110V25W以下を使用してください。)



お手入れ

●ファンや部品の脱着はゆっくり確実に行う

●お手入れの際は、厚手の手袋を着用する

●お手入れは、本体や部品が冷めてから行う

そのほか

●運転中は危険ですからファンの中に指や物を入れない

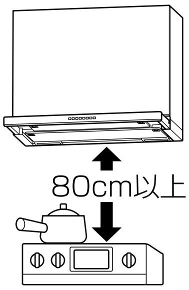
●伸縮フードの上に物を置かない

●伸縮フード、整流板が動作中に手を触れない

使用上のご注意

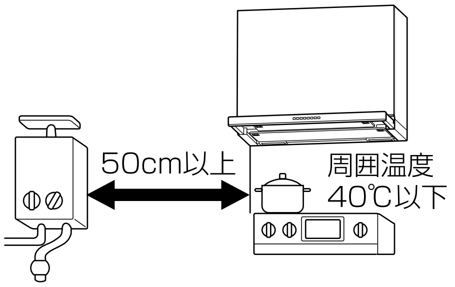
ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。

火災予防条例ではフード下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上になるように設置する必要があります。



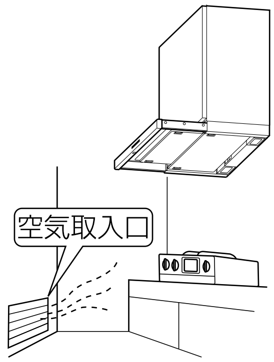
ガス湯沸かし器はレンジフードファンから50cm以上離してください。

ガス湯沸かし器周辺は高温になるので50cm以上離してください。湯沸かし器上部には絶対にレンジフードファンを取り付けないでください。
損傷や故障の原因になります。



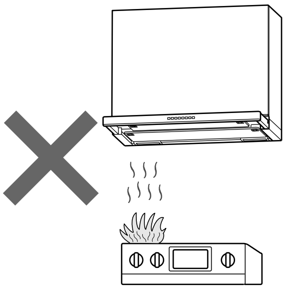
運転中は給気を行ってください。

レンジフードファンの反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。
空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します。



調理機器の空だきは絶対にしないでください。

製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



IHクッキングヒーター使用時、フードがあたたまりにくいため結露(水滴)が生じることがあります。その場合は、滴下する前にふきとってご使用ください。

調理機器を使用するときは、必ずレンジフードファンをグリル、強、標準または弱運転で運転してください。

停止状態や常時換気運転では、フード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

調理中、室温によっては、結露水がオイルポケットにたまる場合があります。定期的にお手入れして水を捨ててください。

レンジフードファン使用時、横風が当たらないようにしてください。

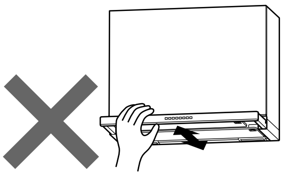
横風の影響を受けると吸い込みが悪くなることがあります。

塗装の変質、変色、はがれ防止のため下記のものは使わないでください。

・アルカリ性洗剤
・弱アルカリ性洗剤
・酸性洗剤
・シンナー
・ベンジン
・アルコール
・灯油
・みがき粉
・金属タワシ
・研磨剤入りタワシ
・亀の子タワシ

伸縮フード、整流板を無理に押したり、引いたりしないでください。

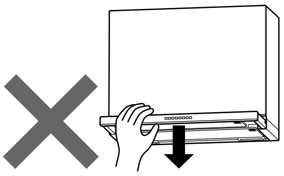
故障の原因になります。



伸縮フード、整流板に寄りかかるなどして、無理な荷重をかけないでください。

●整流板や部品が落下して、けがをする恐れがあります。

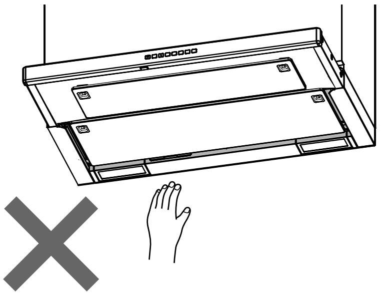
●故障の原因になります。



伸縮フード、整流板が動作中に手を近づけないでください。

●整流板や部品が落下して、けがをする恐れがあります。

●手や指をはさんでけがをする恐れがあります。



下記の部品は、落下またはぶつけるなどして変形・破損したまま使用しないでください。

部品が落下して、けがをする恐れがあります。

・フィルター
・ベルマウス
・ファン
・整流板(大)
・整流板(小)
・オイルポケット

フィルターに市販の繊維フィルターなどを重ねて使用しないでください。

●火災の原因になります。
地域によっては火災予防条例で金属製のフィルターの使用が義務づけられています。

●風量低下の原因となります。

伸縮フードの下部や角部に頭などをぶつけないように気をつけてください。

性能を維持するために専用のフィルターをご使用ください。

他のフィルターを使用すると吸い込みが悪くなります。

本体操作で換気をする

1

弱 標準 強 グリル

のいずれかのスイッチを押し、換気運転をする

選んだ運転モードのスイッチが点滅します。

▼

動作音とともに伸縮フードが手前に移動します。

●安全のため、伸縮フード、整流板を移動させるときに、「ピーピー」とブザー音(警告音)を鳴らすこともできます。➔P.14

▼

伸縮フードが手前に移動して停止すると、運転モードのスイッチが点灯に変わり、換気運転を開始します。

ご注意

●運転開始時に伸縮フードが収納位置にないときは、スイッチを受け付けません。
切 を押して、収納位置に戻してください。
すでに収納位置にあるときは、
切 を押しても伸縮フードは動きません。

●グリルモードのときは整流板(大)が手前に移動します。
グリルからの排気を効率よく換気するためで故障ではありません。

2

換気運転を停止するときは、

切 を押す(1度押し)

約3分間 切 が点滅した後、自動で運転が停止します。

●約3分間の運転により、調理後のにおいやファンの油汚れなどを低減します。

もう一度 切 を押すと(2度押し)、ただちに運転が停止し、動作音とともに伸縮フードと整流板(大)が収納されます。

ご注意

●伸縮フード収納時は、整流板(大)が1度手前に移動してから、収納されます。
機能を保つために移動しているので、故障ではありません。

■照明を点灯したいときは 照明 を押し電球を点灯させる。
➔P.5

■標準機能の設定を変えたいとき
➔P.13,14

⚠ 注意

●伸縮フード、整流板が動作中は、操作スイッチ以外は触れないでください。
動いている部分へ触れるとけがの恐れがあります。

●伸縮フード、整流板を収納中に万一指などをはさんだときは、無理に引き抜いたりしないでください。
けがの恐れがあります。

伸縮フード・整流板（大）の動作を一時停止したいとき

■伸縮フード、整流板(大)が動作しているときに 切 を押すと、その位置で停止します。

➡ もう一度 切 を押すと、伸縮フード、整流板(大)が収納されます。

➡ 弱 標準 強 グリル のいずれかを押すと、伸縮フードが手前に移動して各運転を開始します。

常時換気運転をする(24時間換気対応モード*です。)

＊24時間換気対応モードとは、建築基準法で義務化された常時換気設備としての運転機能です。

1 [常時] を押し、常時換気運転をする

常時換気運転中は、伸縮フードが収納状態でファンが回転しています。

2 常時換気運転を停止するときは、[切] を約3秒間押し続ける

常時換気運転中の換気について

■常時換気運転中に [弱] [標準] [強] [グリル] のいずれかのスイッチを押した場合、運転が始まります。
換気運転を停止させると常時換気運転に戻ります。

換気風量の使い分け

こんなときに	おすすめモード	換気風量の目安
湯気や煙の少ないとき 静かに運転したいとき	弱	230m³/h
通常の調理をするとき	標準	400m³/h
湯気や煙が多いとき 早く換気したいとき	強	550m³/h
IHクッキングヒーターの グリルなどを使用するとき	グリル	600m³/h
24時間換気対応するとき	常時	140m³/h

調理機器と連動運転させ換気をする

連動運転の組み合わせ

■レンジフードファンと連動可能な調理機器を組み合わせてご使用になる場合、以下のような運転をします。

●連動可能な調理機器については販売店へ確認、問い合わせしてください。 ➔ P.26

レンジフードファンの連動運転モード

IHクッキングヒーターの運転状態 ＼ 電気オーブンレンジの運転状態	停止	レンジ	ナノスチーム スチーム	オーブン	グリル
停止	停止	停止	標準	標準	標準
左・右・中央ヒーター	標準	標準	標準	標準	標準
グリル	グリル	グリル	グリル	グリル	グリル
左・右・中央ヒーター+グリル	グリル	グリル	グリル	グリル	グリル

※電気オーブンレンジのオートメニューでナノスチーム、スチーム、オーブン、グリルが入る場合は標準モードで運転します。日立製電気オーブンレンジ(型式：MRO-SK201)。

※グリルモードの連動運転は、日立製IHクッキングヒーター(型式：HT-A20WFS、HT-A9TWFS、HT-A9TFSなど)との組み合わせ時です。これ以外の連動機能搭載IHクッキングヒーターの場合は、グリル運転時も標準モードで連動運転します。

●レンジフードファンがすでに運転しているときに、調理機器から連動信号を受信した場合、風量の大きい運転モードが優先されます。(風量の小さい運転モードには切り替わりません。)

●レンジフードファンが常時換気運転をしているときでも、調理機器から連動信号を受け付けます。調理機器の運転を停止すると、常時換気運転に戻ります。

●調理機器の運転を停止すると約3分間 切 が点滅したあと、自動で運転が停止します。ただちに運転を停止したい場合は、3分間運転中にレンジフードの 切 またはIHクッキングヒーターの前面操作パネル内にあるレンジフードの「切」を押してください。

●レンジフードファンが調理機器から連動信号を受信し運転している場合、調理機器の停止信号が受信できなかったときは、運転開始から約3時間後に運転を停止します。

連動運転機能を正しくお使いいただくには

■ご使用条件によっては、調理機器からの信号を受信できず、連動機能が正常に動作しないことがあります。その場合は、本体の操作スイッチにより運転してください。

●調理機器からの信号が人や鍋などによりさえぎられている場合

(例) IHクッキングヒーターと電気オーブンレンジを同時に使用し、電気オーブンレンジが停止したとき、その信号が人などでさえぎられ受信できない場合、IHクッキングヒーターを停止してもレンジフードファンは、停止しません。

●信号受信部に太陽の光が当たったり、信号受信部と照明機器が近い場合

●レンジフードファンの信号受信部および調理機器の信号送信部が油分などで汚れている場合

●壁、床、天井、衣類などが調理機器からの信号を反射しにくい場合

●他社製調理機器との組み合わせの場合

■ 切 弱 標準 強 の運転切り替えと 照明 の消灯/点灯操作は、IHクッキングヒーターのパネル操作部でも行えます。
(詳細についてはIHクッキングヒーターの取扱説明書をご覧ください。)

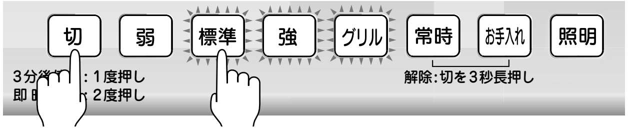
その他の使いかた

調理機器との連動を解除したいとき

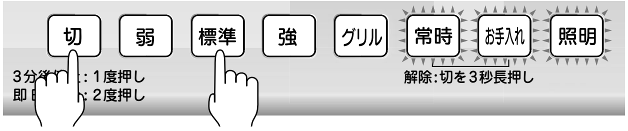
■調理機器と連動しないように設定できます。
※工場出荷時は連動する設定になっています。

調理機器との連動解除のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、[切]を押しながら[標準]を押すと[標準][強][グリル]が点灯し、



そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り[常時][お手入れ][照明]が点灯し、連動解除状態になります。

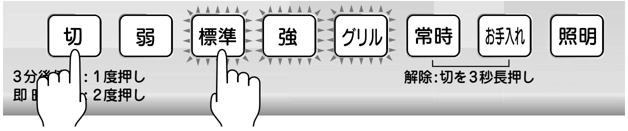


●設定は記憶されます。

調理機器との連動設定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、[切]を押しながら[標準]を押すと[常時][お手入れ][照明]が点灯し、

そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り[標準][強][グリル]が点灯し、連動状態になります。

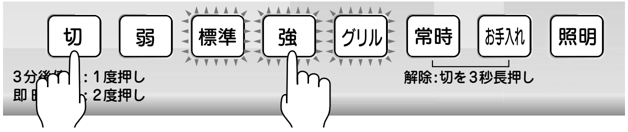


伸縮フードを伸長状態で固定したいとき

■伸縮フードを伸長状態で固定できます。
※工場出荷時はフードが伸縮する設定になっています。

伸縮フード固定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、[切]を押しながら[強]を押すと[標準][強][グリル]が点灯し、



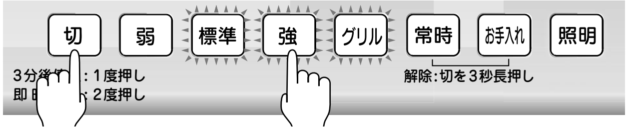
そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り[常時][お手入れ][照明]が点灯し、伸縮フードが手前に移動して固定状態になります。
※常時換気運転でも伸縮フードが伸長状態となります。

●設定は記憶されます。

固定の解除のしかた

伸縮フードが伸長状態で、換気運転停止のときに、[切]を押しながら[強]を押すと[常時][お手入れ][照明]が点灯し、

そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り[標準][強][グリル]が点灯し、伸縮フードが収納され解除状態になります。



お願い ●伸縮フードを伸長状態で固定して使用する場合は、1週間に1度は固定を解除して伸縮フードを動かしてください。油などで伸縮フードが固着する恐れがあります。

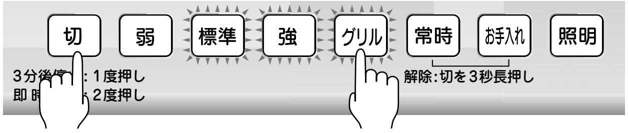
その他の使いかた(続き)

伸縮フード・整流板の動作中にブザー音を鳴らしたいとき

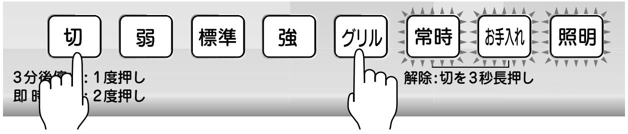
■伸縮フード、整流板の動作中に「ピーピー」とブザー音(警告音)を鳴らすことができます。
※工場出荷時は、ブザー音なしの設定になっています。

ブザー音ありの設定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、切を押しながらグリルを押すと標準 強 グリルが点灯し、

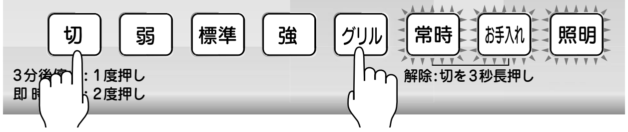


そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り常時 お手入れ 照明が点灯し、ブザー音ありの設定になります。

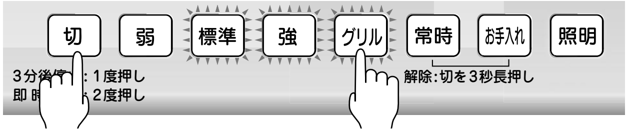


ブザー音なしの設定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、切を押しながらグリルを押すと常時 お手入れ 照明が点灯し、



そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り標準 強 グリルが点灯し、ブザー音なしの設定になります。



●設定は記憶されます。

伸縮フード・整流板の移動速度を速くしたいとき(移動の力を強めたいとき)

■伸縮フード、整流板の移動の速度を速くするとともに、力を強めることができます。
※工場出荷時は、移動速度は標準の設定になっています。

速度を速くする設定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、切を押しながら常時を押すと標準 強 グリルが点灯し、

そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り常時 お手入れ 照明が点灯し、速度が速い設定になります。

速度を標準にする設定のしかた

伸縮フードが収納状態のときに、切を押しながら常時を押すと常時 お手入れ 照明が点灯し、

そのまま約3秒間押し続けると、「ピッ」とブザー音が鳴り標準 強 グリルが点灯し、速度が標準設定になります。

●設定は記憶されます。
●伸縮フード、整流板の移動速度を速くすると、動作音が大きくなります。

⚠注意

●伸縮フード、整流板が移動中に手を触れないでください。手や指をはさんでけがをする恐れがあります。

お手入れ

⚠注意

- ●お手入れの際は、厚手の手袋を着用してください。けがをする恐れがあります。
- ●伸縮フード、整流板が動作中は、手を触れないでください。手をはさむ恐れがあります。また、整流板や部品が落下してけがをする恐れがあります。
- ●お手入れの際は、本体や部品が冷めてから行なってください。やけどをする恐れがあります。

ご注意

- ●下に割れやすいIHクッキングヒーターなどのガラス板がある場合には、重ね合わせた古新聞や厚手のタオルなどで覆ってください。整流板、オイルポケット、フィルター、ベルマウス、ファン、ファンキャップを落として破損する恐れがあります。
- ●分電盤のブレーカーを切る場合には、お手入れモードになった後に行なってください。

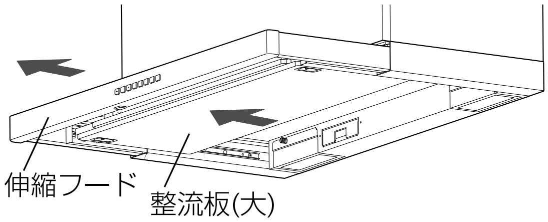
お願い

- ●やわらかい布やスポンジで掃除してください。
- ●洗剤を使用する場合は台所用中性洗剤を使用し、汚れをふき取ったあとは洗剤が残らないように水ぶきしてください。
- ●シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤、酸性洗剤などは使用しないでください。塗装面が変質、変色、はがれる恐れがあります。
- ●タワシやスポンジ裏面の硬いものは、塗装面に傷をつける恐れがありますので使わないでください。

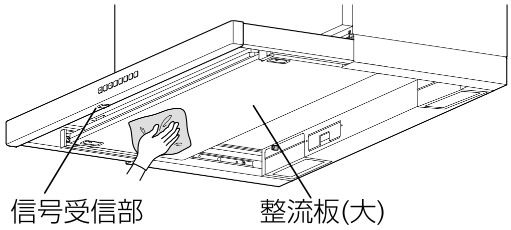
整流板・フードまわり<日頃のお手入れ>

1 [お手入れ] を押す

●伸縮フードと整流板(大)が順に手前へ移動して停止し、お手入れモードになります。

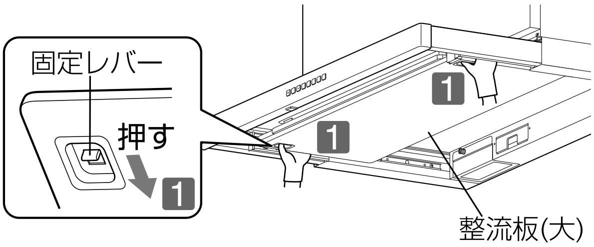


2 整流板(大)と信号受信部の表面の汚れをふき取る

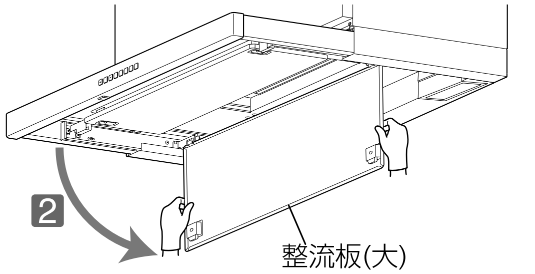


3 整流板(大)を垂れ下げる

1 整流板(大)を両手で支えながら、左右の固定レバーを矢印の方向に押す。



2 整流板(大)をゆっくりと垂れ下げます。



⚠注意

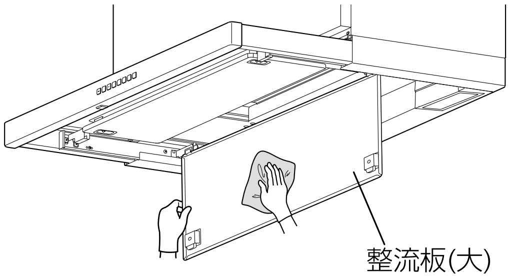
- ●掃除中は整流板を落とさないように注意してください。けがの恐れがあります。

ご注意

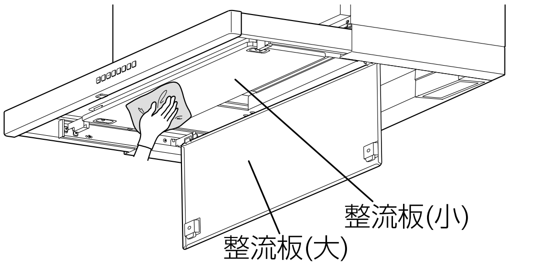
- ●整流板(大)(小)を垂れ下げる際、整流板の裏に付着した油や水などが流れ落ちる場合があります。
- ●整流板(大)(小)には無理な力をかけないでください。吊り下げ部が変形する場合があります。

お手入れ(続き)

4 整流板(大)を支えながら、整流板(大)の裏面の汚れをふき取る

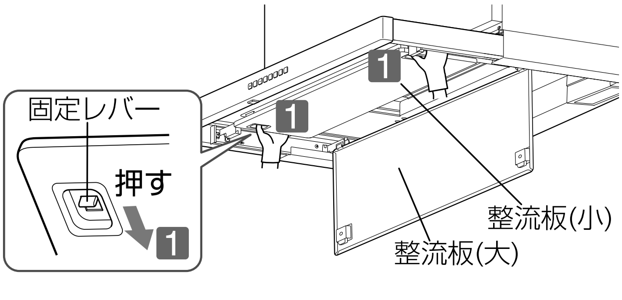


5 整流板(小)の表面の汚れをふき取る

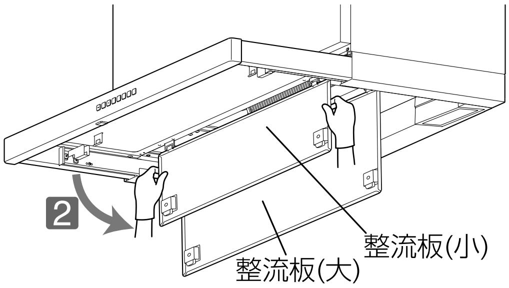


6 整流板(小)を垂れ下げる

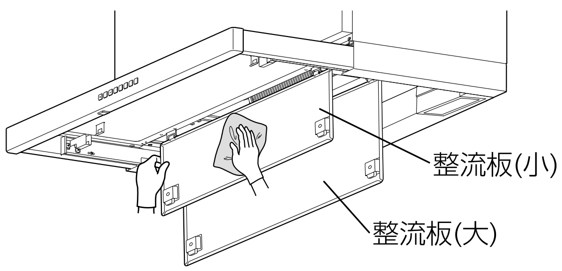
1 整流板(小)を両手で支えながら、左右の固定レバーを矢印の方向に押す。



2 整流板(小)を同じようにゆっくりと垂れ下げます。

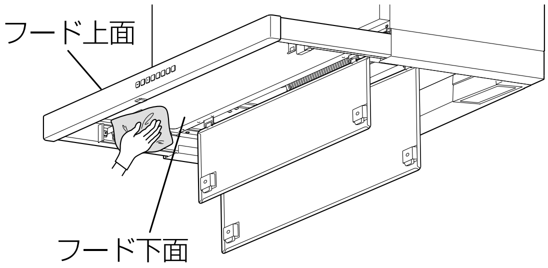


7 整流板(小)を支えながら、整流板(小)の裏面の汚れをふき取る



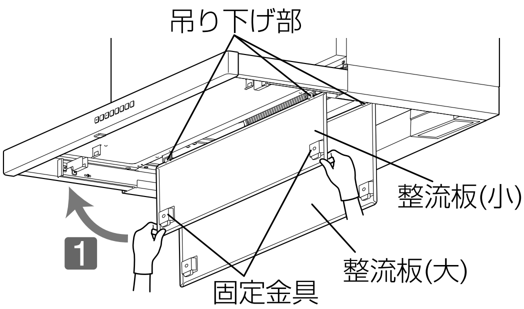
8 フード本体の掃除をする

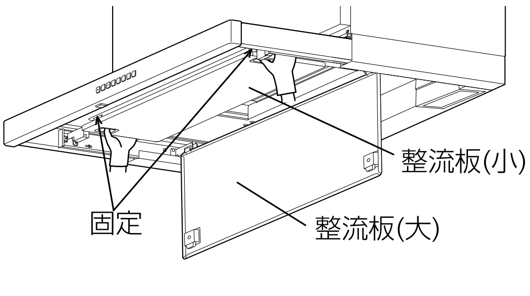
●フード本体にも油が付着しますので、フード上面と下面を台所用中性洗剤溶液に浸した布などでよくふきとってください。汚れをふきとったあとは、洗剤が残らないように水ぶきをしてください。



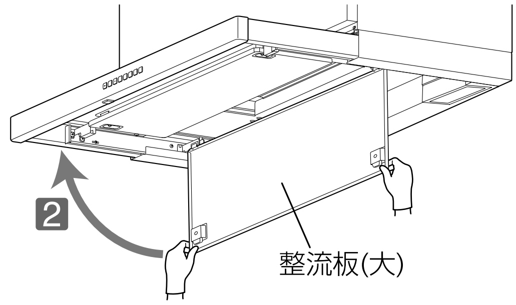
9 整流板(小)、(大)を元どおりに取り付ける

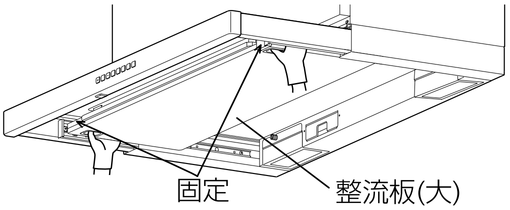
1 整流板(小)の手前側を持ち、吊り下げ部を軸に回転させて固定金具でフード本体に固定します。





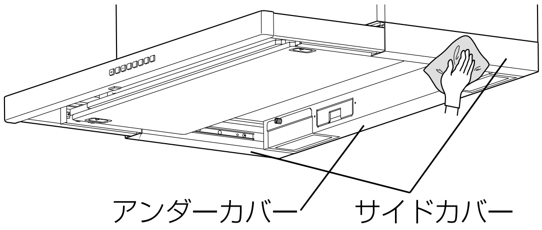
2 整流板(大)の手前側を持ち、同じように吊り下げ部を軸に回転させて固定金具でフード本体に固定します。





お願い ●整流板を前後左右に動かして確実に取り付けられていることを確認してください。落下したり、伸縮フードの収納ができなくなります。

10 サイドカバー、アンダーカバーの掃除をする



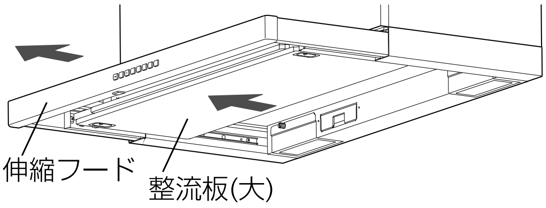
11 [切] を約3秒間押し続ける

●お手入れモードを終了し、伸縮フードが収納されます。

オイルポケット＜定期的にお手入れ＞(約1ヶ月に1回が目安)

1 [お手入れ] を押す

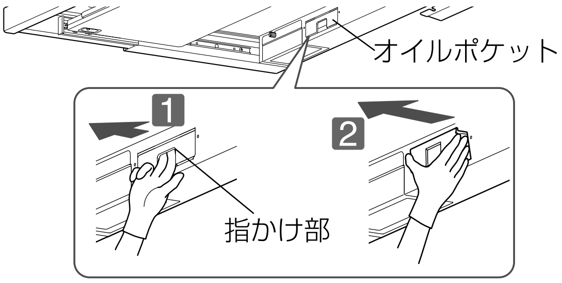
●伸縮フードと整流板(大)が順に手前へ移動して停止し、お手入れモードになります。



2 オイルポケットを取り外す

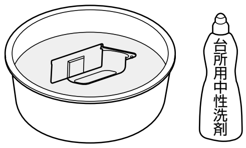
1 オイルポケットの指かけ部に指先をかけ、少し手前に引き出します。

2 オイルポケットの両端をしっかりつかんで、油がこぼれないよう、手前に引き出し取り外してください。



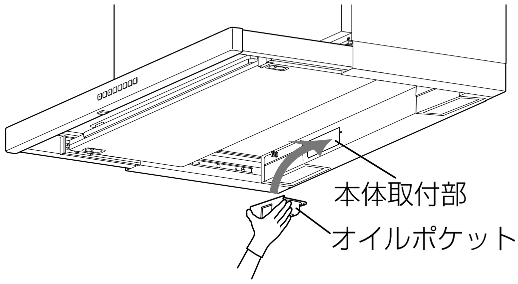
3 オイルポケットの掃除をする

●油がたまっている場合には、キッチンペーパーなどで油をふきとってから、台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗います。



4 オイルポケットを元どおりに取り付ける

●オイルポケットの両端をつかんで、本体に確実に取り付けてください。



お願い ●オイルポケットを軽く動かして確実に取り付けられることを確認してください。

5 [切] を約3秒間押し続ける

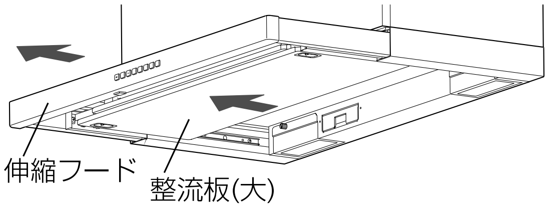
●お手入れモードを終了し、伸縮フードが収納されます。

お手入れ(続き)

整流板・フードまわり<汚れが多いとき>(約1ヶ月に1回が目安)

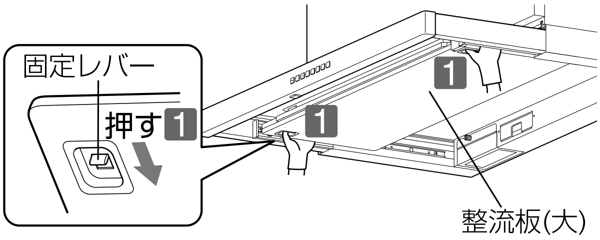
1 [お手入れ] を押す

●伸縮フードと整流板(大)が順に手前へ移動して停止し、お手入れモードになります。



2 整流板(大)を取り外す

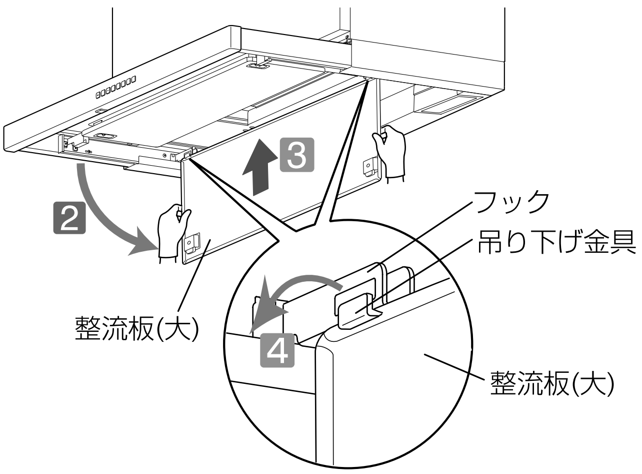
1 整流板(大)を両手で支えながら、左右の固定レバーを矢印の方向に押します。



2 整流板(大)をゆっくりと垂れ下げます。

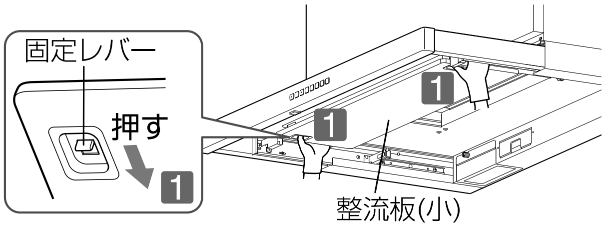
3 整流板(大)の奥を少し持ち上げます。

4 整流板(大)を手前側に傾けながら吊り下げ金具をフックから取り外します。



3 整流板(小)を取り外す

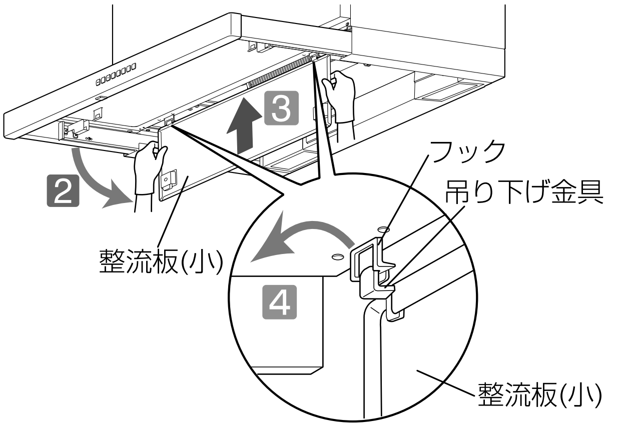
1 整流板(小)を両手で支えながら、左右の固定レバーを矢印の方向に押します。



2 整流板(小)をゆっくりと垂れ下げます。

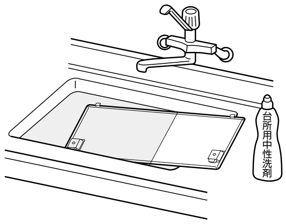
3 整流板(小)の奥を少し持ち上げます。

4 整流板(小)を手前側に傾けながら吊り下げ金具をフックから取り外します。



4 整流板を洗う

●台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をふきとってください。



⚠注意

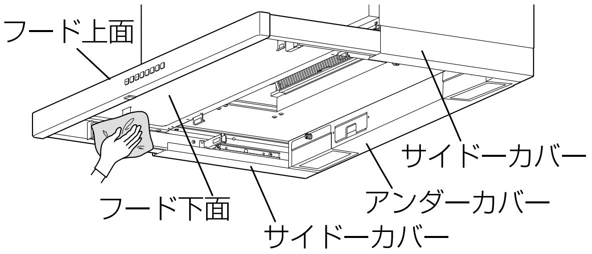
●掃除中は整流板を落とさないように注意してください。けがの恐れがあります。

ご注意

●整流板(大)(小)を垂れ下げる際、整流板の裏に付着した油や水などが流れ落ちる場合があります。
●整流板(大)(小)には無理な力をかけないでください。吊り下げ部が変形する場合があります。

5 フード本体の掃除をする

●本体にも油が付着しますので、フード上面と下面、アンダーカバーを台所用中性洗剤溶液に浸した布でよくふきとってください。汚れをふきとったあとは洗剤が残らないように水ぶきをしてください。



6 整流板(小)、(大)を元どおりに取り付ける

●取り外したときと逆の順序で、元どおりに取り付けてください。

1 整流板(小)の吊り下げ金具をフックに引っ掛けます。整流板(小)の前方を持ち吊り下げ金具を軸に回転させて固定金具をフード本体に固定します。

2 整流板(大)も整流板(小)と同様の手順でフード本体に固定します。

お願い ●整流板を前後左右に動かして確実に取り付けられていることを確認してください。落下したり、伸縮フードの収納ができなくなります。

7 [切] を約3秒間押し続ける

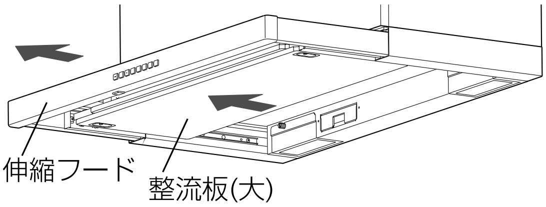
●お手入れモードを終了し、伸縮フードが収納されます。

フィルター、ベルマウス、ファン(約6ヶ月に1回が目安)

お願い ●手が届かない場合は、脚立などのしっかりとした台を使用してください。また、調理機器の上には乗らないでください。

1 [お手入れ] を押す

●伸縮フードと整流板(大)が順に手前へ移動して停止し、お手入れモードになります。



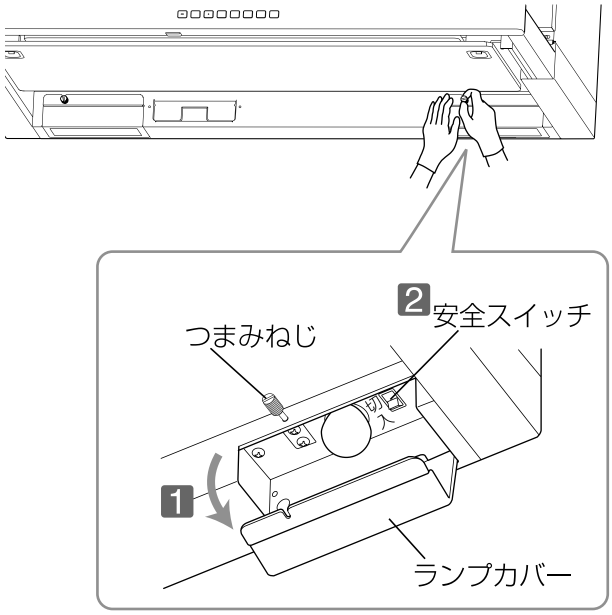
2 安全スイッチを「切」にする

ご注意 ●安全スイッチは右側のランプカバー内にあります。

1 右側のランプカバーを固定しているつまみねじをゆるめて、ランプカバーに手をそえて開けます。

●つまみねじが回らない場合は、マイナスドライバーなどを使用してください。

2 ランプカバー内の安全スイッチの手前側を押して「切」にします。



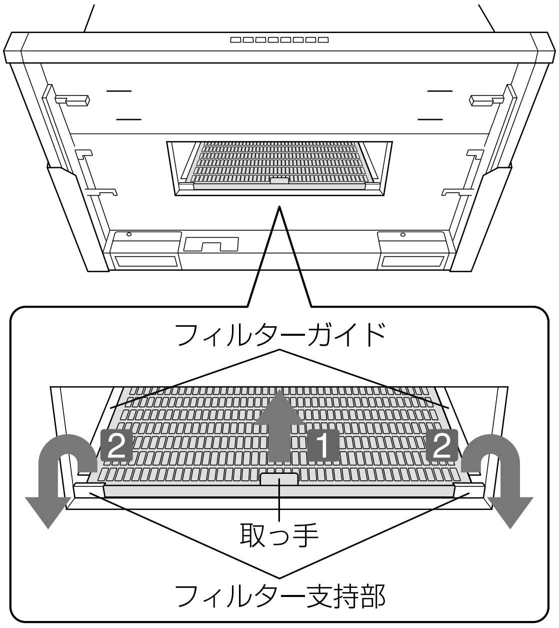
3 整流板(大)、(小)を取り外す

お手入れ(続き)

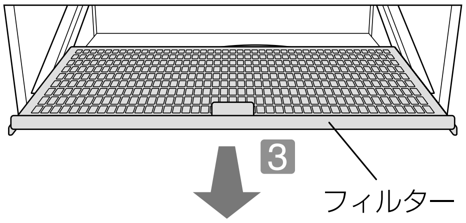
4 フィルターを取り外す

1 フィルターの取っ手を持ち、フィルターガイドに沿って軽く押し上げます。

2 取っ手を手前に引き、フィルター支持部を乗り越えさせます。



3 フィルターを下に引き出します。

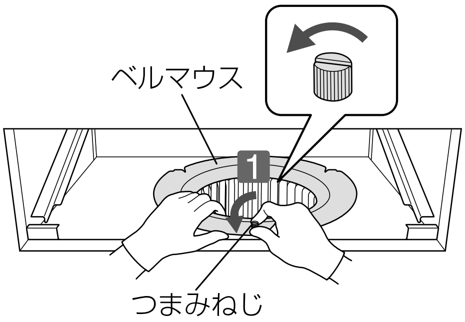


ご注意

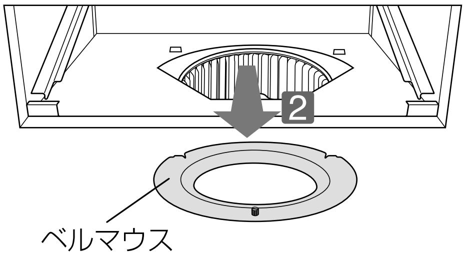
●フィルターを外す際、フィルターに付着した油や水などが流れ落ちる場合があります。

5 ベルマウスを取り外す

1 片手でベルマウスを押さえながら、つまみねじをゆるめます。



2 ベルマウスを下に引き出します。

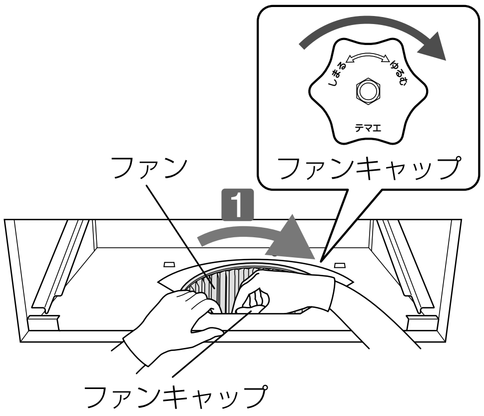


⚠注意

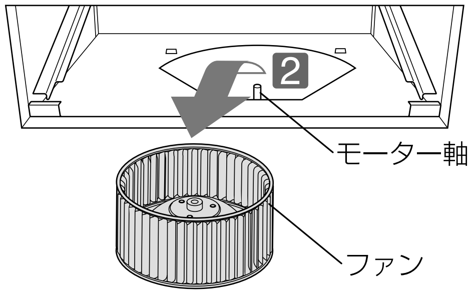
取り扱い落下によるけがに注意

6 ファンキャップとファンを取り外す

1 片手でファンを軽く押さえて回らないようにしながら、ファンキャップを時計回りに回して外します。



2 ファンを手前に引き、モーター軸から外し、ファンを下に引き出します。



⚠注意

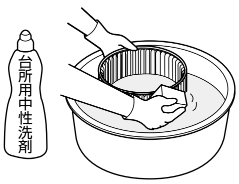
取り扱い落下によるけがに注意

7 フィルター、ベルマウス、ファン、ファンキャップを洗う

●台所用中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。汚れを落としたあと、洗剤が残らないように水洗いし、水気をふきとってください。

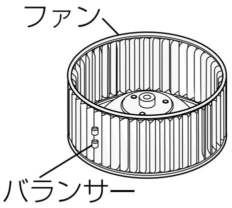
お願い

●シンナー、ベンジン、灯油、みがき粉、アルカリ性洗剤、酸性洗剤などは使用しないでください。
●タワシやスポンジ裏面の硬いものは塗装面に傷をつける恐れがありますので、使わないでください。



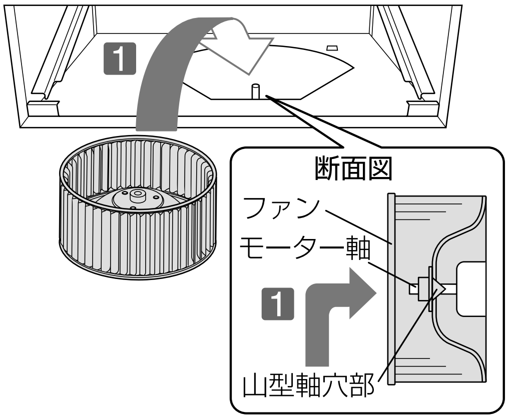
お願い

●ファンにはバランサーがついている場合がありますが、ずらしたり外したりしないでください。ファンのバランスが崩れて、異常音や故障の原因になります。

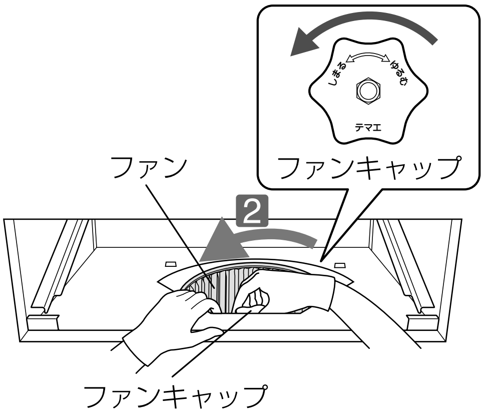


8 ファンとファンキャップを元どおりに取り付ける

1 ファンの山型軸穴部をモーター軸の根元まで差し込みます。



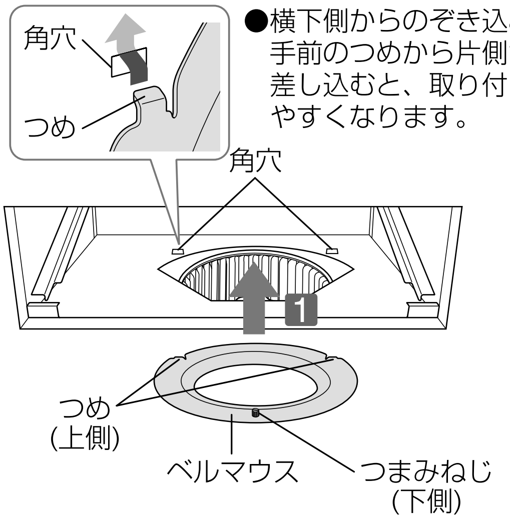
2 片手でファンを軽く押さえて回らないようにしながら、ファンキャップを反時計回りに回して確実に締め付けます。



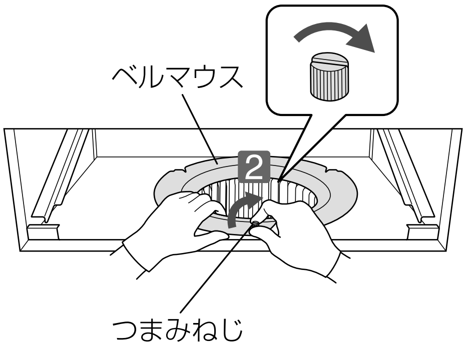
9 ベルマウスを元どおりに取り付ける

1 ベルマウスのつめ2ケ所を確実に角穴に差し込みます。

●横下側からのぞき込み、手前のつめから片側づつ差し込むと、取り付けやすくなります。



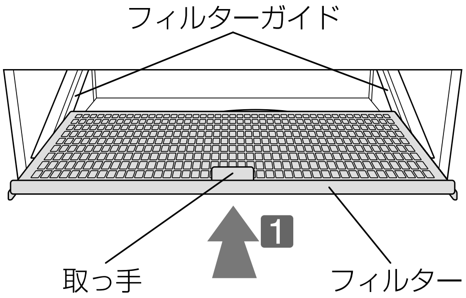
2 片手でベルマウスを支えながら、つまみねじを確実に締め付けます。



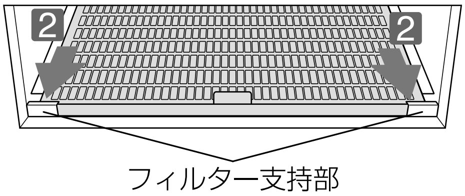
お手入れ(続き)

⑩ フィルターを元どおりに取り付ける

1 フィルターの取っ手を持ち、フィルターガイドに沿わせて、押し上げます。



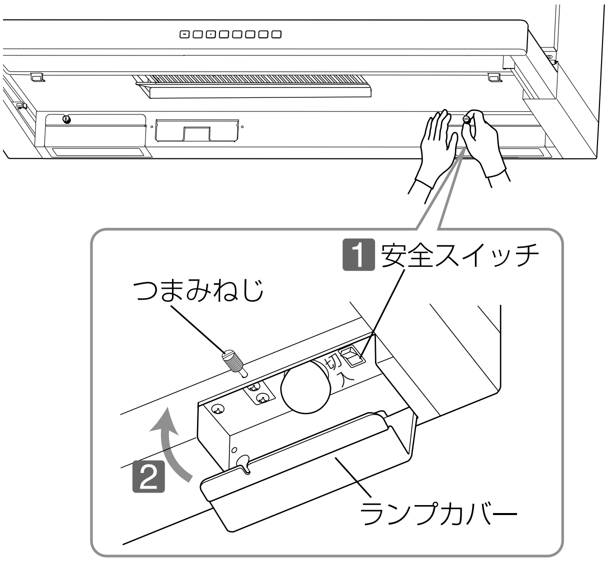
2 フィルター支持部(2か所)にフィルターの下端を確実に乗せます。



⑪ 安全スイッチを「入」にする

1 右側のランプカバー内の安全スイッチを「入」にします。

2 ランプカバーを閉めて、ランプカバーをつまみねじで元どおりに固定します。



ご注意
- ●安全スイッチを「入」にしないと運転できません。
- ●つまみねじが完全に閉めつけられていないとフードが収納できません。

⑫ 整流板(小)、(大)の順に元どおりに取り付ける

⑬ [切] を約3秒間押し続ける

●お手入れモードを終了し、伸縮フードが収納されます。

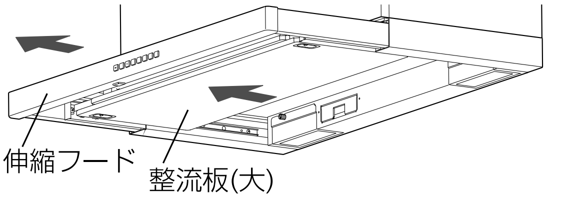
電球交換

⚠注意

●電球の交換はガラスや電球が冷めてから行う。やけどをする恐れがあります。
●指定の電球を使用しないと、電球周囲が高温になりやけどをする恐れがあります。

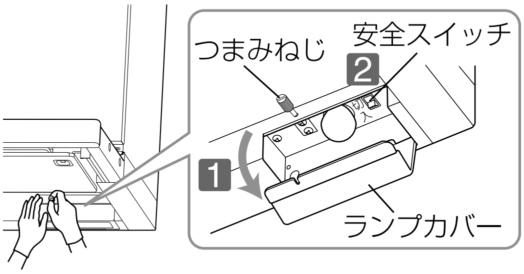
1 お手入れ を押す

●伸縮フードと整流板(大)が順に手前へ移動して停止し、お手入れモードになります。



2 安全スイッチを切る

ご注意 ●安全スイッチは右側のランプカバー内にあります。



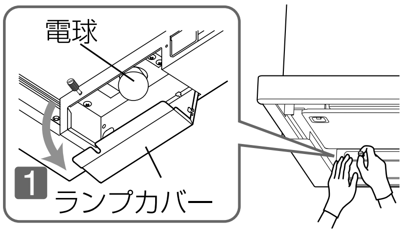
1 右側のランプカバーを固定しているつまみねじをゆるめて、ランプカバーに手をそえて開けます。
●つまみねじが回らない場合は、マイナスドライバーなどを使用してください。

2 ランプカバー内の安全スイッチの手前側を押して「切」にします。

左側の場合

3

1 左側のランプカバーを固定しているつまみねじをゆるめて、ランプカバーに手をそえて開けます。
●つまみねじが回らない場合は、マイナスドライバーなどを使用してください。



2 電球を交換します。
切れた電球を取り外し、市販の電球(ミニ電球 口金E17 定格110V25W以下)をお求めのうえ交換してください。

3 左側のランプカバーを閉めて、ランプカバーをつまみねじで元どおりに固定します。

右側の場合

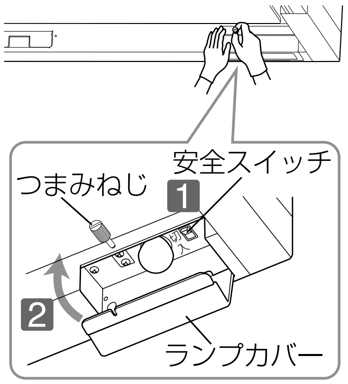
3 電球を交換する

切れた電球を取り外し、市販の電球(ミニ電球 口金E17 定格110V25W以下)をお求めのうえ交換してください。

4 安全スイッチを「入」にする

1 右側のランプカバー内の安全スイッチの奥側を押して「入」にします。

2 ランプカバーを閉めて、ランプカバーをつまみねじで元どおりに固定します。



ご注意
●安全スイッチを「入」にしないと運転できません。
●つまみねじが完全に閉めつけられていないとフードが収納できません。

5 切 を約3秒間押し続ける

●お手入れモードを終了し、伸縮フードが収納されます。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

現　象	確認するところ	直しかた
伸縮フード・整流板・ファンが止まって操作スイッチが全部点滅している（異常報知）	●移動中の伸縮フード・整流板を無理に止めませんでしたか。	切 を2度押して伸縮フード・整流板を収納させてください。
	●伸縮フード、整流板が障害物に当たっていませんか。	障害物を取り除き、切 を2度押して伸縮フードを収納させてください。
	●伸縮フードは完全に収納した位置ですか。	切 を2度押して伸縮フード・整流板を収納させてください。
	●切 を2度押して伸縮フード・整流板が収納しない場合は、伸縮機構部に油が固着している可能性があります。	切 を押したあと、伸縮フードを手で左右均等に押したり、引いたりして収納させてください。(指はさみにご注意ください。) 再度運転して、正常に動作することを確認してください。 ひんぱんに発生する場合は、移動する力を強めてください。 ➔ P.14
	●整流板が外れていませんか。	確実に取り付けてください。 ➔ P.16, 17
運転しない（ファンが回らない）	●分電盤のブレーカーが「切」になっていませんか。	ブレーカーを入れてください。
	●安全スイッチが「切」になっていませんか。	安全スイッチを「入」にしてください。 ➔ P.22, 23
	●電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに入れてください。
	●伸縮フードが完全に収納した位置にありますか。	切 を押して伸縮フードを収納位置に戻してください。 ➔ P.10
	●お手入れモードになっていませんか。	切 を約3秒間押し続けてお手入れモードを解除してください。 ➔ P.17 他
伸縮フード・整流板が途中で止まって動かない	●伸縮フード・整流板が動作中に 切 を1度押しませんでしたか。	切 をもう一度押して伸縮フード・整流板を収納させてください。 ➔ P.10
伸縮フードが収納されない	伸縮フードが伸長状態で固定の設定になっていませんか。	伸縮フードの伸長状態で固定の設定を解除してください。 ➔ P.13
振動・騒音が大きくなった	●ファン・ファンキャップ・ベルマウス・整流板・フィルター・オイルポケット・ランプカバーが確実に取り付けられていますか、また変形などしていませんか。	確実に取り付けてください。 ➔ P.15～22 変形しているときは販売店へご相談ください。 ➔ P.26
	●フィルター・ファンの汚れが多くなっていませんか。	お手入れをしてください。 ➔ P.15～22
運転が終わらない	●常時換気運転になっていませんか。	常時換気をしない場合は、切 を約3秒間押し続けて、運転を終了してください。
	●切 が点滅中(3分間運転中)ではありませんか。	3分間待つか、切 をもう一度押して、運転を終了してください。 ➔ P.10

現　象	確認するところ	直しかた
照明が点灯しない	●電球の取り付けがゆるんでいませんか。	確実に取り付けてください。 ➔ P.23
	●電球が切れていませんか。	電球を交換してください。 ➔ P.23
調理機器と連動しない(連動機能付きの調理機器を使用する場合)	●お手入れモードになっていませんか。	切 を約3秒間押し続けてお手入れモードを解除してください。 ➔ P.17 他
	●レンジフードファンの信号受信部が汚れていませんか。	レンジフードファンの信号受信部の汚れを落としてください。 ➔ P.4, 15
	●調理機器の信号送信部が鍋などでふさがれていませんか。	鍋などを調理機器の信号送信部から取り除いてください。
	●調理機器の信号送信部が汚れていませんか。	調理機器の信号送信部の汚れを落としてください。調理機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
	●調理機器との連動解除の設定になっていませんか。	調理機器と連動する設定にしてください。 ➔ P.13
	●他社製調理機器との組み合わせですか。	他社製調理機器とは連動機能が正常に動作しないことがあります。
	●調理機器のグリル運転をしてもグリルモードにならない	日立製IHクッキングヒーターの指定機種以外は グリル モードになりません。 ➔ P.12
		日立製電気オーブンレンジの指定機種では連動時は 標準 モードになります。 ➔ P.12
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。 ➔ P.26

こんなときは故障ではありません

現　象	理　由
伸縮フードが移動時、中間で一回止まる	移動量を確認するための動作です。異常ではありません。
伸縮フードが収納直前に一回止まる	収納位置を確認するための動作です。異常ではありません。
伸縮フード・整流板移動中の「ウィーン」という音が大きくなったり、小さくなったりする。 伸縮フード・整流板の伸長時の最後に「ウィン」という音がする	モーターの駆動音です。異常ではありません。
別売の電動給気シャッターと組み合わせた場合、給気口から「パタン」という音がする	シャッターの閉まる音です。異常ではありません。

アフターサービス(必ずお読みください)

補修用性能部品の保有期間

換気扇の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店または本ページの「ご相談窓口」にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

24～25ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	IH対応レンジフードファン
型　　式	HE-900SA
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お　名　前	
電 話 番 号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

★長年ご使用の換気扇の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても動かないときがある。 ●運転中に異常な音や振動がする。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他、異常・故障がある。	▶	ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

修理に関するご相談はエコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00～19:00 (月～土)、9:00～17:30 (日・祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談はお客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00～17:30 (月～土)、9:00～17:00 (日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-1454-58

(受付時間) 9:00～17:30(月～金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

ご注意

このレンジフードファンは、家庭用です。
業務用としてご使用になると短期間で故障する可能性があります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

⚠	【製造年】本体に西暦4ケタで表示してあります 【設計上の標準使用期間】10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件

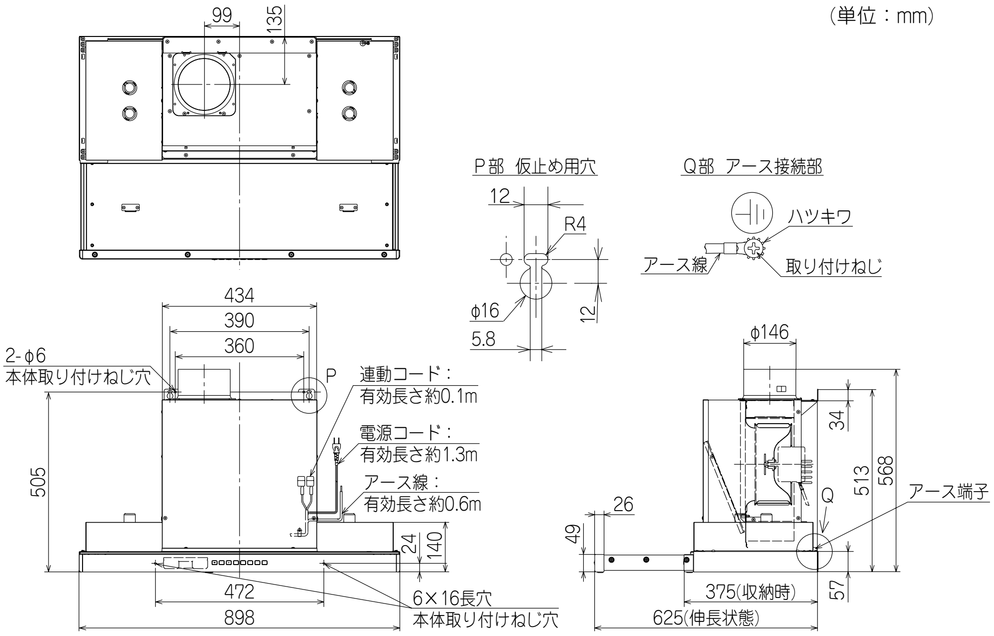
日本工業規格 JIS C 9921-2による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz 又は／ 及び 60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	製品の据付説明書による
負荷条件		定格負荷(換気量)	製品の取扱説明書による
想定時間	1年間の使用時間	換気時間 [a]	
		台　所　2 410 時間	
		居　室　2 193 時間	
		トイレ　2 614 時間	
		浴　室　1 671 時間	
注記 温度20℃、湿度65%は、JIS C 9603の試験状態を参考としている。			
注 [a] 常時換気(24 時間連続換気)のものは、8 760 時間/年とする。			

● 「経年劣化とは」
長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

寸法図

（単位：mm）



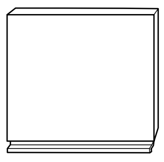
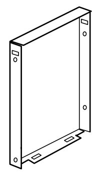
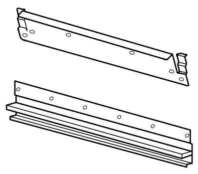
仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型式	電源	風量	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
HE-900SA	100V 50/60Hz	グリル	90/90	600/600	37/37	30
		強	85/85	550/550	35/35	
		標準	75/75	400/400	32/32	
		弱	50/50	230/230	20/20	
		常時	48/48	140/140	25/25	

システム部材

システム部材は、取付方法により必要になります。
詳しくはカタログをご覧になり、日立の家電品取扱店にてお求めください。
価格は、2012年9月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

●前幕板(VP-SAMAK)	●横幕板(VP-SAYMAK)	●面材取付金具(VP-SAMEN)
		
希望小売価格 36,750円 (税抜 35,000円)	希望小売価格 26,250円 (税抜 25,000円)	希望小売価格 17,850円 (税抜 17,000円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　　　　　　　電話（　　）　-

ご購入年月日　　　　　　　　年　　　月　　　日

日立アプライアンス株式会社　　株式会社 日立産機システム
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12　〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル
電話(03)3502-2111　電話(03)4345-6000(代)